

# 長崎検定 一級さん

Vol.49

歴史・文化を学ぶ  
楽しさを知りました

井崎 嘉幸 さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。  
その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。  
ざっくばらんに寄稿願いました。

長崎で暮らし始めて30年以上になりますが、長崎検定に挑戦するまでは、観光地長崎の観光名所等は数えるほどしか知らず、その歴史となると殆ど知りませんでした。還暦も過ぎて頭と心身が老化していく中、脳トレと運動（ウォーキング程度）を兼ね備えたものがないかとあれこれ探しているうちに長崎検定と出会い、挑戦することになりました。2級から始め、1級は2回目で運よく合格することができました。

振り返ると、勉強を始めた頃は公式テキストブックの大部分の問題が解らず、自分の無知さ加減を再認識しました。しかし新鮮な事柄ばかりだったので記憶に残り、かつおもしろいと思ったことを覚えています。1級初挑戦時は、短文記述式問題を時間切れのため1題書ききれず、知識不足で不合格。再挑戦では正月明けから勉強を始めましたが、早々に試験延期の知らせがあり、モチベーションが少し下がりました。年末から新型コ

ロナの感染拡大が始まっており、1月初旬には県下に特別警戒警報が、中旬には長崎市に県独自の緊急事態宣言が発令されました。試験は実施（3月28日）されましたが感染症収束が不透明な中、延期の場合の実施時期又は中止の検討など極めて難しい判断があつたと推察します。関係者のご苦勞を思うと襟を正して臨まないといけないと思われました。実施して頂いたことに感謝いたします。

コロナ禍の前年（2級を受験した年）にヒロスケさるくの馬場・夫婦川コースに参加しました。当日はとても暑く、諏訪神社の一の鳥居から出発し、城の古趾付近までさるき、タオルを絞れるくらい汗をかきました。でもガイドの説明の中に、長崎検定で覚えた地名や人物名等が多々あり、机上と現地が結びついたのがとても楽しかったです。もちろん知らないことも多く、オランダ商館長の江戸参府の際の威福寺での「惜別の宴」「あと賑やかし」「灘渡し」はおもしろいと思いました。

中通り界限コースも暑い日に参加し、全身が汗だくで大変疲れましたが、ガイドの話にひきつけられ良い運動にもなりました。その後はコロナ禍のため自粛していますが、今後も機会を作って興味のある場所を自分なりにさるいてみたいと思っています。

私にとっては長崎検定の公式テキストブックとその解答&解説編は読みやすく、内容も簡潔で写真や絵図が適所に配置され、長崎の魅力が詰まった良本でした。まだ知らないことばかりですがこれから色々な資料を参考に一層の研鑽けんさんを重ねていきたいと思っています。



【プロフィール】  
1957年佐賀県生まれ。  
趣味は今のところ囲碁・将棋。長崎の好きな景色は満月を抱く彦山。